

・研究指導・審査の流れ

年次	時期	事項	対象	概要
1年次	4月	研究指導開始		
	5月	研究計画書提出	1年次	出願時の研究計画案を、指導教員のもとで、博士課程において研究を進めるためのアクションプランとしてのレベルまで練り上げて提出。
	10月	論文構想発表会※	全年次 共通	指導教員の他、本研究科教員の出席のもとで開かれる。研究や論文執筆に関する進捗状況を報告し、幅広く教員や他の院生からの評価や助言・指導を受けられる機会として用意されている。
	2月	年次研究報告書提出	全年次 共通	研究や論文執筆の進捗について研究科に対して報告。
2年次	5月	博士論文執筆計画書提出	2年次 以降	調査・文献の収集など執筆予定論文の論拠となるデータ収集や先行研究の講読等の研究活動を踏まえた論文計画書の進捗状況を提出し報告する。
	10月	論文構想発表会※	全年次 共通	(1年次参照)
	11月	博士論文【執筆資格審査】 《秋期》申請	申請者	2年次後期以降、要件を満たせば申請できます。以後(3年次以降)は、年度毎に2回(5月・11月)に申請を受付けます。 【申請要件概略】 ※詳細は別途確認してください。 ○博士課程第2学年以上に在学している。 ○査読制度のある学術誌等に、1編以上の論文を公表している。 【審査内容】 ○博士論文執筆計画書審査
	2月	年次研究報告書提出	全年次 共通	(1年次参照)
3年次	5月	博士論文【執筆資格審査】 《春期》申請	申請者	(2年次参照)
		博士論文執筆計画書提出	2年次 以降	執筆資格審査に申請したものは提出を免除
	9月	博士学位授与【第1次審査】 《秋期》申請	申請者	◆3年次後期以降に、要件を満たせば申請できます。在学4年目以降は、年度毎に2回(4月・9月)に申請を受付けます。 【申請要件概略】 ※詳細は別途確認してください。 ○執筆資格審査に合格している。 ○博士課程に3年以上在学(在学見込も含む)している。 ○査読制度のある学術誌等に、2編以上の論文を公表している。但し、1編は執筆資格審査時の業績をもってあてることができる。 【審査内容】 ○論文審査
	10月	論文構想発表会※	全年次 共通	(1年次参照)

年次	時期	事項	対象	概要
3 年 次	11月	博士論文【執筆資格審査】 《秋期》申請	申請者	(2年次参照)
	12月	博士学位請求予定論文 【公開発表会】《秋期》	第1次審査 合格者	第1次審査《秋期》の合格者による発表と、質疑応答を一般公開して実施する。(博士課程3専攻の合同開催)
	1月	【博士学位授与審査】 《秋期》申請	申請者	【申請要件概略】 ※詳細は別途確認してください。 ○第1次審査に合格している。 ○博士課程に3年以上在学(在学見込も含む)している。 【審査内容】 ○論文審査 ○最終試験(口頭試問)等※口頭試問は申請者がキャンパスへ出向く等の出頭ができない場合は、査読のみの審査でも可とする。
	2月	年次研究報告書	全年次共通	(1年次参照) ※当該年度後期に学位授与申請した者は提出を免除する。
4 年 目 以 降	4月	博士学位授与【第1次審査】 《春期》申請	申請者	(3年次《秋期》参照)
	5月	博士論文【執筆資格審査】 《春期》申請	申請者	(2年次《秋期》参照)
	5月	博士論文執筆計画書提出	2年次 以降	執筆資格審査に申請したものは提出を免除
	6月	博士学位請求予定論文 【公開発表会】《春期》	第1次審査 合格者	(3年次《秋期》参照)
	7月	【博士学位授与審査】 《春期》申請	申請者	(3年次《秋期》参照)
	9月	博士学位授与【第1次審査】 《秋期》	申請者	(3年次《秋期》参照)
	10月	論文構想発表会※	全年次共通	(1年次参照)
	11月	博士論文【執筆資格審査】 《秋期》申請	申請者	(2年次参照)
	12月	博士学位請求予定論文 【公開発表会】《秋期》	第1次審査 合格者	(3年次参照)
	1月	【博士学位授与審査】 《秋期》申請	申請者	(3年次参照)
	2月	年次研究報告書提出	全年次 共 通	(1年次参照) ※当該年度後期に学位授与申請した者は提出を免除する。

※福祉社会開発研究科合同で開催する「論文構想発表会」での口頭発表は、国際社会開発専攻では修了の要件としていない。しかし、教育・指導の一環として発表会を実施する為、国際社会開発専攻の場合は、修士課程の中間報告会の時期(5月・10月)の時期を活用して、年に1回は発表を行うことを推奨する。

・博士学位授与のプロセス

STEP 1 (2年次後期以降)

【博士学位請求論文執筆資格審査】

	申請	可否通知
春期※	5月	7月
秋期	11月	2月

※春期は3年次以上のみ申請可能です。

□申請資格：次の要件をすべて満たす者。

- ①博士課程の2年次以上に在学し、必要な研究指導を受けていること。
- ②論文執筆資格審査の申請までに、学位論文に関連した業績（国内外のレフリース制を有する学術専門誌等に掲載された1編以上の論文。論文は、掲載予定のものを含む。）があること。
- ③申請について指導教員の承諾を得ていること。

□申請書類：

- ①論文執筆資格審査申請書
- ②論文執筆計画書
- ③申請資格要件②を満たす業績
- ④論文掲載予定証明書 ※該当者のみ
- ⑤研究業績一覧およびその概要
- ⑥その他研究科で必要と認めるもの

STEP 2 (3年次以降)

【第1次審査】

	申請	可否通知
春期※	4月	6月
秋期	9月	12月

※春期は在学4年目以降のみ申請可能です。

□申請資格：次の要件をすべて満たす者。

- ①論文執筆資格審査に合格していること。
- ②本研究科博士課程在籍者については、3年次以上に在学し、第1次審査申請日の属する学期末までの通算在学期間が6年以内であること。
本研究科博士課程を満期退学した者については、最初に博士課程に入学した日から学位申請のために再入学した日の属する学期末までの期間が6年以内(休学期間含まず)であること。
- ③第1次審査の申請までに、国内外のレフリース制を有する学術専門誌等に掲載された2編以上の論文（掲載予定のものを含む）があること。ただし、この2編のうち1編は、論文執筆資格審査の申請にあたって提出した学位論文に関連した業績をもってあてることができるものとする。
- ④第1次審査の申請について指導教員の承諾を得ていること。

□申請書類：

- ①第1次審査申請書
- ②学位請求予定論文
- ③学位請求予定論文要旨（和文・英文）
- ④申請資格要件③の業績
- ⑤論文掲載予定証明書 ※該当者のみ
- ⑥研究業績一覧およびその概要
- ⑦その他第1次審査の参考となる資料

STEP 3 (3年次以降)

【博士学位授与審査】

	申請	可否通知
春期※	7月	9月
秋期	1月	3月

※春期は在学4年目以降のみ申請可能です。

□申請資格：次の要件をすべて満たす者。

- ①学位授与第1次審査に合格していること。
- ②本研究科博士課程在籍者については、3年次以上に在学し、博士学位授与申請日の属する学期末までの通算在学期間が6年以内であること。
本研究科博士課程を満期退学した者については、最初に博士課程に入学した日から学位申請のために再入学した日の属する学期末までの期間が6年以内(休学期間含まず)であること。
- ③学位申請について指導教員の承諾を得ていること。

□申請書類：

- ①博士学位授与審査申請書
- ②博士学位請求論文
- ③博士学位請求論文要旨（和文・英文）
- ④博士論文目録
- ⑤研究業績一覧およびその概要
- ⑥履歴書
- ⑦誓約書
- ⑧博士学位請求論文に関する論文の別刷またはコピー